

Conference on Green Logistics in Japan

第3期 ロジスティクス環境会議

<http://www.logistics.or.jp/green/>

「第3期ロジスティクス環境会議」開催にあたって

社団法人日本ロジスティクスシステム協会
会 長 三 村 明 夫
(新日本製鐵株式会社 代表取締役社長)



私達は、健全な地球環境と社会環境を最も重要な財産として、将来の世代に引き継ぐために、環境との調和を最優先に考えた循環型社会を構築しなければなりません。

企業の経済活動において、環境対応の重要性は一層増しており、製品等のライフサイクル全体の視点から、設計・調達・生産・販売・物流・回収・廃棄といった個々の取り組みを横断的に見直すとともに、サプライチェーンとリバースチェーンを最適化するロジスティクスの構築が必要不可欠です。

このような状況のもと、当協会では、「循環型社会を実現するロジスティクス・グランドデザイン」の実現を目指し、2003年11月より「ロジスティクス環境会議」を設立し、活動を行ってきました。

第1期(2003年11月～2006年3月)では、環境負荷低減活動に取り組む企業を増やすための基盤整備として、活動を支援するマニュアル等のツールを作成いたしました。さらに、物流分野の環境負荷低減を経営の重要課題と認識し、積極的に環境負荷低減活動に取り組むことを目指した「ロジスティクス環境宣言」を採択いたしました。

第2期(2006年8月～2008年3月)では、物流分野における二酸化炭素等の環境負荷低減に焦点をあて、第1期に引き続き、活動支援のためのマニュアル等の作成を行うとともに、改正省エネルギー法における課題やモーダルシフトのさらなる推進に向けた課題に対し、解決方策を取りまとめ、行政等へ提言活動を行いました。

第3期活動では、行政・大学等の研究機関・関連団体と連携を深めながら、第2期に引き続き、課題の解決方策の検討を進めるとともに、異業種メンバーによる事例等の情報交流等を通して、ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を積極的に推進いたします。

是非、第3期ロジスティクス環境会議に積極的なご参画を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ロジスティクス環境会議とは

ロジスティクス環境会議とは、ロジスティクス分野における環境負荷低減のために、荷主企業、物流企業等が、課題解決方策の検討や有用となるマニュアル等の開発、及びそれらの普及等を行っている活動体です。

環境対応を進めたいと考える物流・ロジスティクスに携わる異業種企業メンバー等が参画し、幅広い情報収集と人的ネットワークの形成が可能な場となっております。

第3期では、これまでの活動の成果の普及等による「環境負荷低減活動に取り組む仲間を増やす」活動を進めます。

概 要

名 称 :ロジスティクス環境会議(第3期)
Conference on Green Logistics in Japan (CGL in Japan)

目 的 :持続可能社会を実現するロジスティクスの構築
～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

期 間 :2008年5月～2010年3月

参加対象 : (社)日本ロジスティクスシステム協会(JILS)の会員
ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を実践していきたいと考えている、製造業、流通業、物流事業者、情報サービス業、調査・研究機関、自治体等の方々。

方針

持続可能社会を実現するロジスティクスの構築に向けて、産官学・発荷主・着荷主・物流事業者間等の連携のもと、第1、2期の活動成果を活用しつつ、ロジスティクス領域の環境負荷低減活動を推進します。

目標

循環型社会の実現に向けて、ロジスティクス分野の環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、研究会ならびに委員会等の活動を通じて、次の「ロジスティクス環境宣言」(第1期第4回本会議(2006年3月15日)採択)の実現を目指します。さらに、持続可能社会の実現に向けて、ロジスティクス・グランドデザインの改訂を進めます。

ロジスティクス環境宣言

①自らの環境負荷を低減する

メンバー企業自らの活動によって発生する環境負荷低減目標を定め、目標達成に向けたマネジメントサイクルを推進する。

②環境負荷低減に取り組む企業を増やす

関係企業とパートナーシップを築き、共に環境負荷低減に向けた取り組みを推進する。

③情報を発信し、循環型社会の形成に寄与する

活動を通して明らかになった課題については、企業・行政・団体等の関係者へ情報発信を行い、循環型社会の形成に寄与する。

循環型社会を実現するロジスティクス・グランドデザイン

調達、生産、流通、消費の諸活動とそれらの過程を経て発生する廃棄物の処理の行為は、環境汚染や環境破壊など、環境に対して様々な負荷を与えます。私達の世代は健全な地球環境と社会環境とを(人類生存の大前提である)最も重要な財産として、将来の世代に引き継ぐ責務を有しています。その責務を果たすべく、ロジスティクスにおいても、環境への調和、環境との共生、環境改善への積極的貢献、を最優先に考えねばなりません。

ロジスティクスには、再使用や循環などの視点に加え、素材の選択や廃棄物の処理のあり方で視野を広げ、環境への負荷に適切に配慮しつつ、費用対効果を最適化することが必要です。

JILSは21世紀の循環型社会における、ロジスティクス活動のあるべき姿として

「環境と調和した循環型社会を支える

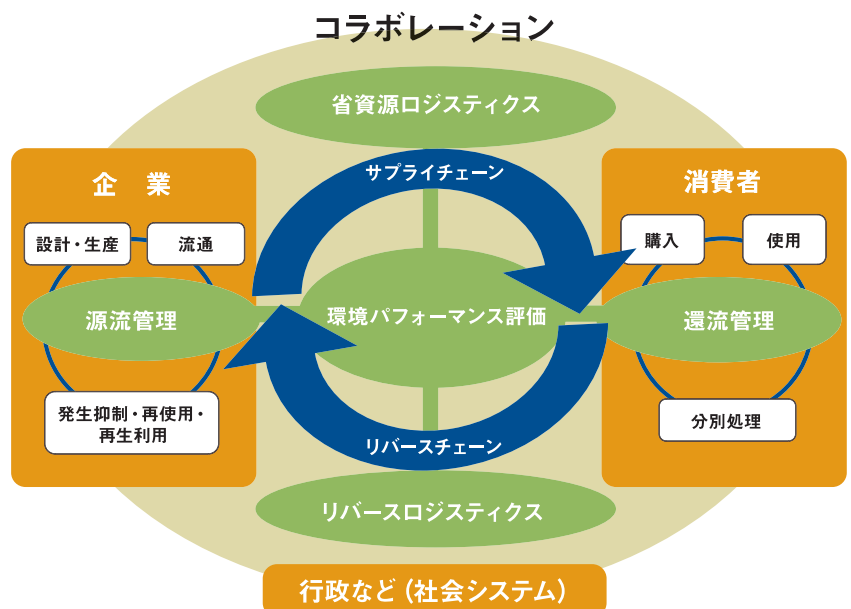
ロジスティクス」を提唱します。

循環型の経済活動を、ロジスティクスを通じて実現したいという思いを込めて、

「循環型社会を実現するロジスティクス・

グランドデザイン」を提案します。

(第1期第1回本会議(2003年11月13日)採択)



第3期ロジスティクス環境会議（2008年5月～2010年3月）は、参加メンバー等による各種事例等の情報交換を中心とした「研究会」と、マニュアル等の成果物を自らが主体的に作成する「委員会」によって構成されます。

研究会、委員会の具体的なテーマ等につきましては、参加メンバーの方々のご意見、ご要望によって決定させていただきます。

その他、必要に応じ、特定のテーマに関して検討等を行う「ワーキング（WG）」を設置いたします。

1 グリーン物流研究会

ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するため、参加メンバー等からグリーン物流の各種施策の実施事例等の情報交換等を通じて、実践的な改善施策の研究を行います。

■第2期グリーン物流研究会で実施した主な研究テーマ

- ①改正省エネ法対応
- ②共同物流
- ③モーダルシフト
- ④包装資材削減
- ⑤現場改善とグリーン物流
- ⑥イノベーションとグリーン物流
- ⑦グリーン物流パートナーシップ 推進事業
- ⑧現場見学

※第3期の研究テーマ等については、ご登録いただいた方のご意見等を参考に、決定いたします。

2 委員会

ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するうえで、発荷主、着荷主、物流事業者間で課題を整理し、課題の解決方策の検討や有用となるマニュアル等の作成を行います。さらに、必要に応じ、企業、行政、団体等の関係者への提言を行います。

第3期については、右記から2つの委員会を設置し活動を行う予定です。

■委員会テーマ例

(1) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会（仮称）

ミッション	環境負荷と経済効率を考慮した物流に係る取引条件のあり方の研究を行う
検討テーマ例	・リードタイムの緩和（延長）による環境負荷への影響と、実施時に発生する課題等の整理 ・取引条件変更による環境負荷改善効果の算出 ・グリーン調達において、グリーン物流への配慮、組み込みに向けた検討

(2) リバースロジスティクス推進委員会（仮称）

ミッション	リバースロジスティクスの効率化に向けた検討を行う
検討テーマ例	・現状のリバースロジスティクスにかかわる課題の整理、解決方策の検討 ・3R推進に向けた指標管理の検討

(3) 包装・梱包材削減・適正化推進委員会（仮称）

ミッション	包装材の削減・適正化による環境負荷低減に向けた検討を行う
検討テーマ例	・自社単独、もしくは発・着荷主、梱包メーカー等の連携による包装・梱包材削減・適正化を実現した事例収集 ・包装材に係る実用的な環境パフォーマンス算定方法の検討、普及 ・包装材削減等に向けた各主体における役割の整理

(4) 環境負荷低減のためのシステム機器等に関する検討委員会(仮称)

ミッション	システム機器*1の効果的な使用による環境負荷低減に向けて、ユーザー、ベンダーとの交流を通じた検討を行う
検討テーマ例	・環境負荷低減に寄与するシステム機器*1等に関する情報交流の実施 (ユーザー〔荷主、物流事業者〕間、ユーザーとベンダー間) ・機器活用、もしくは導入の際に参考となるガイド等の作成

*1 低燃費車、エコタイヤ/EMS機器/マテハン機器等を想定。参加メンバーの意向等を勘案し、検討対象を決定いたします。

※設置する委員会につきましては、「委員会希望調査」の結果にもとづき、決定いたします。

※委員会として設置されなかったテーマにつきましては、グリーン物流研究会の事例研究等で取り上げる予定です。

※輸送分野におけるCO₂削減(改正省エネ法対応等)につきましても、グリーン物流研究会での事例研究を予定しております。

3 ワーキング(WG)

■実施テーマ(予定)

- ・持続可能社会実現に向けたロジスティクス・グラウンドデザインの改訂
- ・グリーンロジスティクスチェックリスト調査
- ・CO₂の帰属に関する検討

※ワーキングにつきましては、原則として事務局でメンバー選定を行います。

4 ロジスティクス分野における環境に関する情報提供

全メンバーを対象に、右のような情報提供を行います。

■シンポジウムや講演会等のイベントの開催(年間1～2回開催予定)

第2期で開催したイベント

- ・ロジスティクス環境シンポジウム

——取引条件見直しによる環境負荷とコストの改善——

- ・グリーンロジスティクス講習会

——グリーンロジスティクス推進のためのキーワード“連携”、“開発”、“共同化”——

- ・会員研究会「グリーンロジスティクスのすすめ」

■媒体を通じた情報提供

- ・ジャーナル(冊子)の発行(2回):行政施策動向、環境会議の活動内容の情報提供
- ・メールマガジンの配信(毎月2回程度):行政施策動向、各種イベント案内等、即時的な情報提供



ロジスティクス環境シンポジウム



CGLジャーナル

活動イメージ

第1期からの活動経過と第3期の活動イメージ

検討領域

第1期

2003年11月～2006年3月

環境負荷低減活動に「取り組む企業」を増やすための基盤整備活動（マニュアルの作成等）の展開

<主な成果>

二酸化炭素排出量算定ガイド

モーダルシフト推進チェックリスト・資料集

省資源ロジスティクス事例集

取引条件の見直しによる物流の環境負荷低減効果に関する調査報告書

リバースロジスティクス調査報告書

企業の環境報告書における物流に関する記載内容実態調査 他

改正省エネ法判断基準への意見・要望書提出

ロジスティクス環境宣言の採択

グリーン物流パートナーシップ会議との連携

第2期

2006年8月～2008年3月

物流分野におけるCO₂削減を中心テーマとしながら、環境宣言第1項実現に向けた取り組みを展開

<主な成果>

グリーンロジスティクスガイド

鉄道へのモーダルシフト実施／拡大のためにクリアしなければならない課題と対応事例

エコドライブ推進ガイド
—輸送事業者と発・着荷主の連携—

取引条件を考慮した環境負荷低減施策に関する提案
—加工食品をモデルとして—

グリーンロジスティクスチェックリスト

改正省エネ法 定期報告書、計画書の分析

グリーン物流研究会による改善施策の研究

改正省エネ法への意見・要望書提出

モーダルシフト推進のための要望書提出

グリーン物流パートナーシップ会議との連携

第3期

2008年5月～2010年3月

第2期末着手領域を中心とした検討

<検討テーマの例>

グリーン物流推進のための取引条件

リバースロジスティクス推進

包装・梱包材削減、適正化

システム機器

グランドデザイン改訂

CO₂の帰属

グリーン物流研究会による改善施策の研究

取り組む企業を増やす活動（環境宣言第2項実現に向けた取り組み）

<第1、2期成果の普及>

グリーンロジスティクスガイドの普及

グリーンロジスティクスチェックリスト調査を通じた啓発活動

各種施策や調査結果の情報提供等

グリーン物流パートナーシップ会議との連携

<個人を変える>

自社のみならず、関係会社、取引先等へ積極的な情報提供ができるように個人の意識を“変える”ことを促す活動

普及活動（取り組む仲間を増やす）

各組織の役割

ロジスティクス環境会議(本会議)

2008年度は2008年7～8月、2009年3月、2009年度は2010年3月に開催予定

①ロジスティクス環境会議全体(本会議、研究会、委員会等)の基本方針を定めます。

②合意事項の普及啓発と関係者に対する提言を行います。

※本会議には、企業メンバーの他、以下の方々にもご参加いただきます。

特別メンバー：ロジスティクスおよび環境問題に取り組む学識経験者・関連団体等

オブザーバー：経済産業省、国土交通省、環境省、農林水産省(予定)



ロジスティクス環境会議 本会議

研究会、委員会

それぞれ、年間6～8回開催予定

研究会：ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するため、参加メンバー等からグリーン物流の各種施策の実施事例の情報収集等を通じて、実践的な改善施策を研究します。

委員会：ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するうえで、発荷主、着荷主、物流事業者間で課題を整理し、課題の解決方策の検討や有用となるマニュアル等の作成を行います。さらに、必要に応じて企業、行政、団体等の関係者への提言を行います。



委員会での成果物(グリーンロジスティクスガイド)

活動のスケジュール

組 織	2008年度(2008年5月～2009年3月)	2009年度(2009年4月～2010年3月)
本会議	● 第1回 (7～8月) ● 第2回 (3月)	● 第3回 (3月)
研究会	研究会参加登録票提出 研究会メンバー記入票提出 2008年5月～2010年2月(年8回(計16回)開催予定)	
委員会	委員会希望調査票提出 準備委員会 ● 設置委員会決定 ● テーマ案決定 2008年8月～2010年2月(年6～8回(計12～16回)開催予定)	

申 込 規 定

■参加料金:1期2年間(2008年 5月～2010年3月) 210,000円/1社(税込)

※参加料は、初年度(105,000円/1社)、次年度(105,000円/1社)に分けてご請求いたします。

■参加募集企業・自治体:120社(予定)

■参加申込方法:「参加申込書」及び「グリーン物流研究会参加登録票/委員会希望調査票」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込ください。請求書を後日お送りいたします。

■参加申込期限:2008年7月31日(木)

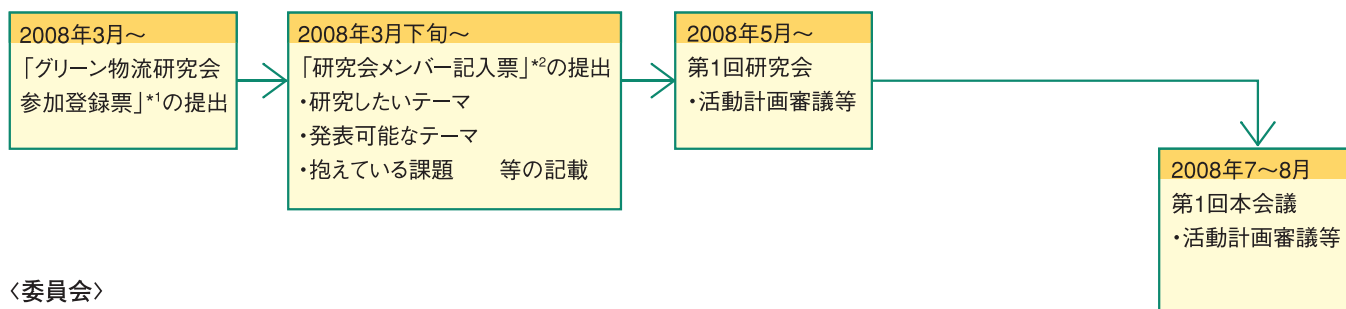
ご注意 ・ご登録は、原則1期2年(2010年3月迄)といたします。

・年度途中の参加辞退につきましては、参加料の払い戻しはいたしません。

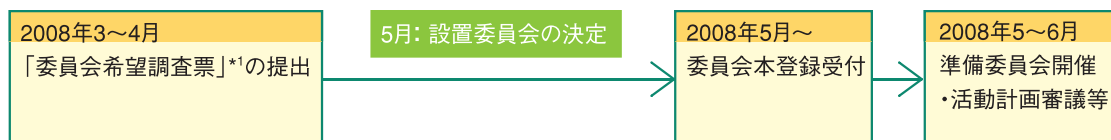
・参加料には各会合(本会議と研究会、委員会等)の運営費用等が含まれます。

申込後のスケジュール

〈研究会〉



〈委員会〉



*1 「グリーン研究会参加登録票」及び「委員会希望調査票」は、別添の「第3期ロジスティクス環境会議 参加登録票/委員会希望調査票」が該当します。

*2 「研究会メンバー記入票」は、ご登録いただいた方に事務局よりメールでお送りいたします。

■問い合わせ先

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター

〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル TEL 03-5484-4021 FAX 03-5484-4031

URL <http://www.logistics.or.jp/green/>

申込 FAX : 03-5484-4031

第3期ロジスティクス環境会議 参加申込書

会社・事業所名	(フリガナ)	☐ JILS 会員外	
業 種	【 】 ※裏面業種一覧をご参照の上、貴社に該当する主要な業種の番号をご記入ください		
代表登録者 (本会議メンバー)			
氏 名	(フリガナ)	所属・役職 :	
所 在 地	〒 —	TEL	()
		FAX	()
メールアドレス	@		
代表登録者への連絡先 (ご本人以外の場合ご記入ください)			
氏 名	(フリガナ)	所属・役職 :	
所 在 地	〒 —	TEL	()
		FAX	()
メールアドレス	@		

1. グリーン物流研究会への参加登録は行いますか。

☐ 登録しない ☐ 登録する (→別紙グリーン物流研究会参加登録票にご記入下さい。)

2. 現時点で委員会への参加を希望されておりますか。

☐ 参加しない ☐ 参加希望 (→別紙委員会希望調査票にご記入下さい。)

*委員会希望調査の結果に基づき、設置する委員会を決定いたします。

*設置する委員会決定後に本登録を行います。その際に、登録の変更、取り消しは可能です。

* 上記研究会・委員会にご登録いただかない場合でも、下記による情報収集が可能です。

- ・ 本会議参加による研究会、委員会の活動報告書の入手
- ・ 環境会議主催のシンポジウムや講演会等のイベントへの参加
- ・ ジャーナル (冊子) やメールマガジンの配信

※ ご登録について

- ・ 代表登録者 (本会議メンバー) は、必ずご記入ください。
- ・ ロジスティクス環境会議は当協会会員の方が参加対象となります。非会員の方は、是非この機会に当協会にご入会ください。

◆参加申込・内容の問合せ先◆

社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター 栗原・小川・北條
〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル Tel:03-5484-4021 Fax:03-5484-4031
e-mail:cgil@logistics.or.jp

個人情報のお取扱について

(社)日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。
詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>) をご覧ください。

業 種 分 類 表

※表面「業種」欄に番号をご記入ください。

■製造業

番号	分類	
1	食品	食品
2	繊維・衣服	繊維・衣服
3	紙・パルプ	紙・パルプ
4	化学	化学
		油脂・洗剤
		医薬品
		塗料・インキ
		化粧品
		その他の化学
5	石油・石炭製品	石油・石炭製品
6	ゴム・皮革製品	ゴム・皮革製品
7	ガラス・土石・窯業	ガラス
		セメント・土石
		窯業
8	鉄鋼	鉄鋼
9	非鉄金属	非鉄金属
10	金属製品	金属製品
11	機械器具	産業機械（物流用機器を除く） 一般機器
12	電気機械器具	家電
		産業電機
		情報・通信機器
		電子部品・半導体
		その他の電気機器
13	輸送用機械器具	造船
		鉄道車輛
		自動車
		自動車部品
		航空機
		その他の輸送用機器
14	精密機械器具	理化学・計測機械
		光学機器
		時計
15	物流用機械器具	保管機器・システム
		仕分け機器・システム
		荷役機器・システム
		包装機器・システム
		その他の関連機器・システム
16	その他の製造業	印刷
		スポーツ用品・玩具
		楽器
		文具・事務機器
		その他の製造業

■物流業

番号	分類	
17	物流業	鉄道
		陸上輸送
		海運
		空運
		倉庫
		利用運送・物流管理業
18	物流子会社	その他の物流業
		物流子会社

■流通業

番号	分類	
19	小売業	百貨店
		量販店
		コンビニエンスストア
		通信販売
		訪問販売
		その他の小売業
20	卸売業	総合商社
		生産財卸売業
		消費財卸売業
		その他の卸売業
21	外食業	外食業

■サービス業

番号	分類	
22	サービス	旅行
		レンタル・リース
		法律・会計・特殊事務所
		人材派遣
		教育
		その他のサービス業
23	電力・ガス	電力 ガス
24	金融・保険	金融・保険
25	不動産	不動産 ビルメンテナンス
26	放送・出版	放送・出版・広告
27	情報・通信	通信事業
		ソフトウェア
		情報サービス

■その他

番号	分類	
28	農林・水産	農林・水産
29	鉱業	鉱業
30	建設	総合建設
		住宅および住宅関連
		設備工事
		設計事務所
		土木工事
		その他の建設業
31	調査研究機関	調査研究機関・コンサルティング
32	官公庁	国
		地方自治体
33	団体・組合	団体・公益法人・特殊法人
34	その他	上記のいずれにも該当なし

申込 FAX： 03-5484-4031

※ 研究会、委員会への参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入ください。

第3期ロジスティクス環境会議
グリーン物流研究会参加登録票

会社・事業所名	(フリガナ)
---------	--------

【グリーン物流研究会 参加登録票】

氏 名	(フリガナ)	所属・役職：
所 在 地	〒	TEL ()
		FAX ()
メールアドレス	@	

*グリーン物流研究会の活動内容…環境負荷低減活動を推進するため、参加メンバー等からグリーン物流の各種施策の実施事例の情報収集等を通じて、実践的な改善施策の研究を行います。

*今後の流れ ①事務局からメール送付する「メンバー記入書」の記載、提出（3月下旬～）
②第1回研究会開催案内送付（4月中旬）
③第1回研究会開催（5月予定）

個人情報のお取扱について

(社)日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。
詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>) をご覧ください。

**第3期ロジスティクス環境会議
設置委員会の決定及び委員会本登録について**

1. 委員会の活動内容

ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を推進するうえで、発荷主、着荷主、物流事業者間で課題を整理するとともに、解決方策の検討や有用となるマニュアル等の作成を行います。さらに必要に応じて、行政、関係団体等に低減を行います。

2. 設置委員会について

第3期申込企業（2008年3月12日～5月8日）に対し、設置委員会の希望調査を実施しておりましたが、このたび、調査結果がまとまりました（図表1参照）。

図表1 「設置委員会希望調査」の結果

設置委員会案	回答社数
取引条件見直しによる環境負荷低減	32
包装・梱包材削減・適正化	17
システム機器等の効率的使用による環境負荷低減	16
リバースロジスティクス推進	15

したがって、下記2委員会を設置することに決定いたしました。

- 取引条件見直しによる環境負荷低減
- 包装・梱包材削減・適正化

3. 委員会本登録について

委員会に参加を希望される場合は、別紙「委員会参加登録票」に必要事項をご記入の上、事務局宛にFAXにてお送りください。

- * 委員会に参加を希望されない場合は、委員会参加登録票の送付は不要です。
- * 1委員会のみ登録も可能です。その場合は、該当する委員会欄のみご記入下さい。
- * 委員会は、年6～8回程度開催予定です。（代理出席は可能です）
- * 希望調査の回答内容にかかわらず、登録可能です。

4. 今後の予定

今後の予定は下記のとおりです。

図表2 今後の予定

日付	内容
5月12日（月）	委員会登録受付開始
5月23日（金）	第1次 委員会登録締め切り日※1
6月上旬	準備委員会の開催（活動内容案検討）
8月上旬	第1回本会議、活動内容決定
8月下旬～9月	第1回委員会開催

※1 第1次 委員会登録締め切り日を5月23日（金）としておりますが、第1回委員会開催までは登録可能となっております。

申込 FAX : 03-5484-4031

※委員会への参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入ください。

**第3期ロジスティクス環境会議
委員会参加登録票**

会社・事業所名	(フリガナ)
---------	--------

【グリーン物流推進のための取引条件検討委員会（仮称） 参加登録】

氏 名	(フリガナ)	所属・役職：
所 在 地	〒 _____	TEL ()
		FAX ()
メールアドレス	@	

※検討テーマ例

- ・リードタイムの緩和（延長）による環境負荷への影響と実施時の課題等の整理
- ・取引条件変更による環境負荷改善効果の算出方法の検討
- ・グリーン調達へのグリーン物流への配慮、及びグリーン調達ガイドライン等へのグリーン物流の組み込みに向けた検討等

【包装・梱包材の削減・適正化推進委員会（仮称） 参加登録】

氏 名	(フリガナ)	所属・役職：
所 在 地	〒 _____	TEL ()
		FAX ()
メールアドレス	@	

※検討テーマ例

- ・自社単独、もしくは発・着荷主、梱包メーカー等の連携による包装・梱包材の削減・適正化事例収集
- ・包装材に係る実用的な環境パフォーマンス算定方法の検討、普及
- ・包装材削減等に向けた各主体の役割の整理

個人情報のお取扱について

(社)日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。
詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>) をご覧ください。